

部 局 名	環境経済部
部 局 長 名	山本 康樹
部の運営方針	<ul style="list-style-type: none">・手賀沼の水環境保全啓発と環境保全型農業、地産地消等の農業拠点の機能を有した手賀沼親水広場では、利用者の声を聞きながら施設の管理・運営を充実させます。また、市内外にその魅力を発信しながら、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与する施設としての活用を図ります。・手賀沼の美しい環境の再生を目指し、千葉県や関係機関・団体と連携し、手賀沼の浄化対策を着実に進めるとともに、環境学習と啓発事業に取り組みます。・第 2 次環境基本計画を策定するとともに、「あびこエコ・プロジェクト 5」に基づき、市の事務事業が環境へ与える負荷の低減を図り、温室効果ガスの削減を進めます。また「市民・事業者への環境配慮指針」の普及・啓発に努めます。・大気汚染、土壌・地下水汚染、騒音、振動等の公害対策に取り組み、市民の快適な生活環境を守ります。・市民の不安を解消するため、全庁的な放射能対策の取りまとめを行います。・令和 5 年度から令和 1 4 年度までの 1 0 年間を計画期間とする一般廃棄物対策基本計画を策定するとともに、現計画に定めた施策を展開し、ごみの減量化と再資源化を図ります。・焼却施設等の適切な維持管理と、放射性物質を含む焼却灰等の適正処理に努めます。・「我孫子市廃棄物処理施設整備基本計画」「新廃棄物処理施設整備詳細計画」「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づき、新廃棄物処理施設の建設工事を着実に進めます。・農業生産と農業経営に係る基盤整備を進め、経営として成り立つ農業の土台づくりを進めます。・認定農業者を増やすとともに新規就農者を含めた農業の多様な担い手を育成・支援します。・消費者、商工業者及び農業者の相互理解と交流を促進し、地産地消の事業を推進します。・「エコ農業推進基本計画」に基づき、環境保全型農業の育成・支援を行います。・手賀沼沿い農地の保全活用のための施策を展開します。・商工業振興基本条例に基づき、商工業の基盤強化と持続的な発展を目指します。・商工会等と連携し、商店街の活性化に向けた取り組みなどを進め、商業の振興を図ります。・「商業活性化ビジョン」及び「観光振興計画」を統合した「(仮称) 商業観光方針」を策定するとともに、現計画を着実に推進し、交流人口の拡大を図ります。・安全・安心で豊かな消費生活を送れるよう、消費生活相談などを実施し、消費者の支援を行います。・企業が進出しやすい環境整備や起業創業の支援を行うとともに、住工混在の解消を目指します。・民間活力により公園坂通りの賑わいの創出を図るとともに、地域経済の活性化につなげます。・既存企業の活性化に向けて融資制度等により支援を行うとともに、市民の就労に向けた支援を進めます。

部 局 名	環境経済部
部 局 長 名	山本 康樹
部の運営方針に対する総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消等の農業拠点である手賀沼親水広場の入館者数が、新型コロナウイルス感染症の影響が収束してきたことから、回復し、前年度より増加しました。また、ジャパンバードフェスティバルなどの各種イベントも会場での実施ができるようになり、市内外の交流人口の増加や地域活性化に貢献できました。 ・手賀沼の水環境の回復を目指し、千葉県をはじめとする関係機関や市民団体等と連携し手賀沼の水質浄化活動、各種調査、環境教育、啓発活動について取り組みを実施できました。 ・「あびこエコ・プロジェクト5」に基づき、庁内の温室効果ガスの削減に取り組むとともに、「市民・事業者への環境配慮指針」の普及を行いました。また、市民から住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金を交付し、家庭における地球温暖化対策と電力の強靱化を推進しました。 ・大気汚染、土壌・地下水汚染、騒音・振動等の公害対策を行い、市民の生活環境を保全するよう取り組みました。 ・令和5年度から令和14年度までの10年間を計画期間とする一般廃棄物対策基本計画を策定しました。また、生ごみ処理容器の購入補助金制度や再資源化事業促進奨励金制度、空き缶中間処理業務委託等種々の施策を展開してごみの減量化及び再資源化に取り組みました。 ・老朽化した焼却施設や資源化施設、し尿処理施設を適切に維持管理するとともに、資源化や埋立ての手法により、放射性物質を含む焼却灰や不燃残渣を適正に処理しました。 ・新廃棄物処理施設については、着実に工事を進め令和5年1月から試運転を開始、令和5年3月31日に引き渡しを受けました。 ・市民の不安を解消するため、放射線量の測定データの公表を継続するとともに、全庁的な放射能対策の取りまとめを行いました。 ・農業生産と農業経営に係る基盤整備を進めるため、「人・農地プラン」を作成し、農業生産基盤の維持強化に取り組みました。 ・認定農業者や新規就農者を確保・育成するため、就農希望者の計画作成や農地の確保をサポートするとともに、就農後の農地拡大、農業機械・施設の導入、農業技術の習得、そのための資金調達などの支援に取り組みました。 ・消費者、商工業者及び農業者の相互理解と交流を目指し、市民農園の運営や農家開設型ふれあい体験農園、農業体験や農業拠点施設を中心とした各種イベントを開催し、地元農産物の利用促進と消費者交流の場を提供しました。 ・「エコ農業推進基本計画」に基づき、環境保全型農業の普及・促進を図り、エコ農産物の栽培・供給に取り組む農家を積極的に支援しました。 ・手賀沼沿いの農地を耕作する農業者への支援を行い、手賀沼や斜面林などと一体となった豊かな自然環境を保全していくとともに、自然と農業を活かした観光資源としての活用を図りました。 ・商工業振興基本条例に基づき、商工業者、商工会、商店会、市の連携のもと、商工業の振興に向けて取り組みました。 ・商工会等と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内事業者の支援と国が示す「新しい生活様式」のひとつであるキャッシュレス決済の普及促進を目的としてキャッシュレス決済ポイント付与キャンペーンを実施し、消費喚起に繋げました。 ・「商業活性化ビジョン」及び「観光振興計画」を統合した「我孫子市商業観光まちづくり大綱」を策定し、今後の取り組みの方向性を示しました。 ・消費者が安全・安心で豊かな消費生活ができるよう、必要な情報の収集・提供や相談の受付、苦情処理等に係る斡旋を行いました。 ・千葉県、地元 NPO 法人、商工会とも連携を図りながら、起業創業者への支援を行いました。また、住工混在解消に向け柴崎地区産業用地整備事業を進め、開発に向け関係機関との協議を進めました。 ・公園坂通りの賑わいの創出を図るため、公園坂通り施設活用事業者選考委員会による選考を行い、事業者を決定しました。 ・千葉県と連携し就職支援セミナーを開催するとともに、通年で地域職業相談室を運営し、市民の就労に向けた支援を実施しました。

令和4年度 課の目標管理書

課名：環境経済部 手賀沼課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・「手賀沼親水広場」の運営を着実に進めます。展示内容の工夫を図り、多くの方に来館してもらうことで水環境保全啓発に努めます。施設を活用して環境学習を推進します。また、じゃぶじゃぶ池や多目的広場等を活用し、交流人口の拡大を図ります。

・多くの市民が手賀沼を身近にふれあえるよう、環境学習会やジャパンボードフェスティバルなど手賀沼に親しむイベント等を通して啓発事業を行うとともに、千葉県及び流域市と連携し、より効果的かつ多角的に手賀沼浄化・再生に向けた取り組みを進めます。

・谷津の自然環境を守り育てるリーダーを育成し、ホテル・アカガエルの里や田んぼ広場、その周辺環境の順応的な管理を行うとともに、自然環境を高めるための土地利用を促進します。

・社会情勢を踏まえ、新たに令和5年度からの市の環境施策方針を定める第二次環境基本計画を策定します。

・地球温暖化対策では、「あびこエコ・プロジェクト」を着実に進めていきます。また、「市民・事業者への環境配慮指針」などに基づき、ごみの排出抑制、太陽光発電システム・省エネルギー設備の設置の普及などを、市民・事業者と一体となって進めるとともに、再生可能エネルギーの普及に努めます。

・狂犬病予防の見地から、畜犬登録を推進します。

・公害対策では、法に基づく公害や環境上で不快な状況の発生を防止するため、引き続き、地盤・土壌・地下水の保全対策や騒音・振動の防止対策を進めるとともに、大気汚染、水質汚濁を監視していきます。

・放射能対策では、放射線量の測定のための機器の貸し出し、市民相談に引き続き取り組むとともに、要した負担を東京電力に求めています。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取り組みを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
全取組を滞りなく実施することにより、地球環境・自然環境・生活環境の保全に努めました。また、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、ジャパンボードフェスティバルや各種イベントなども規模を縮小したものの開催することができました。	全取組を実施することにより、環境保全に寄与することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

令和4年度の取り組みを継続するとともに、令和4年度に策定した第二次環境基本計画に基づいた施策を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ジャパンバードフェスティバルの開催	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-5 交流・関係人口の拡大	
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。	
事務事業の目的・概要	「人と鳥の共存をめざして」をテーマに、ジャパンバードフェスティバルを開催し、環境保護を考える機会を提供するとともに、国内最大級の鳥の祭典としてその情報を発信し、自然環境の大切さをアピールしていきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	ジャパンバードフェスティバルの開催		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	405	12,354	1.42	0	0.00	12,759	0	0	0	0	12,759
令和3年度	決算見込額	513	12,638	1.42	0	0.00	13,151	0	0	0	0	13,151
令和4年度	当初予算額	3,244	11,939	1.42	0	0.00	15,183	0	0	0	0	15,183
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	3,217	10,369	1.22	874	0.40	14,460	0	0	0	0	14,460

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	実行委員会の開催数	回		6	6	6	6	6
				6	6			
成果 指標	来場者数	人		40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
				0	25,000			
成果 指標	出展団体数	団体		170	170	170	170	170
				0	118			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	予定通り実行委員会を開催し、開催に向けて活発な議論を実施できた。
成果に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症対策として規模縮小で開催したため、例年と比較すると来場者数及び出展者数は減少しているが、3年ぶりに会場開催をすることができた。
総合的な評価	ほぼ順調	感染症対策を実施のもと、概ね順調にイベントを開催できた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	近年の物価高騰等により財政的に厳しい状況が続いているため、出展料の見直しなど必要な対応を検討し、本事業を今後も継続して実施していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	親水広場の運営・活用
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-5 交流・関係人口の拡大
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。
事務事業の目的・概要	手賀沼親水広場・水の館では、水環境保全の啓発を進めるとともに、手賀沼の魅力を高めるさまざまなイベントの開催を通して、地域の活性化やにぎわいの創出を図っていきます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	エンジョイ手賀沼の開催	
	親水広場の運営	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業	手賀沼親水広場管理運営業務委託 R3~R8年度 290,623千円	

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	非常勤職員 (人)	合計年度任用職員 (人)	合計年度臨時職員 (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	65,429	6,873	0.79	0	0.00	72,302	0	0	0	4,096	68,206
令和3年度	決算見込額	66,272	7,031	0.79	0	0.00	73,303	0	0	0	0	73,303
令和4年度	当初予算額	82,037	7,210	0.79	0	0.00	89,247	0	0	0	4,534	84,713
	補正後予算額	79,224	7,210	0.79	0	0.00	86,434	0	0	0	0	86,434
	決算額	75,537	5,718	0.60	437	0.20	81,692	0	0	0	0	81,692

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	エンジョイ手賀沼実行委員会実施回数	回		6	6	6	6	6
				5	6			
活動指標	プラネタリウムの番組更新回数	回		4	4	4	4	4
				4	4			
活動指標	プラネタリウムコンサート、観望会の企画回数	回		8	8	8	8	8
				8	8			
成果指標	エンジョイ手賀沼来場者数	人		15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
				0	4,800			
成果指標	水の館入館者数 (4~3月)	人		470,000	470,000	470,000	470,000	470,000
				488,265	492,933			
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	活動指標については、概ね目標値を達成することができた。会議については、現地とオンラインとで開催するハイブリッド方式で実施することで、多くの方が参加できた。
成果に対する評価	順調	エンジョイ手賀沼の来場者については、縮小開催のため例年より減少しているものの、イベント自体は盛況となった。水の館の入館者数は、じゃぶじゃぶ池の再開なども影響したのか、昨年度よりやや増加している。
総合的な評価	順調	コロナ対策を行いながら安全・安心にイベント等を実施できた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	手賀沼の水環境保全啓発を主目的に、その役割を補完・向上するための機能を付け加え、市内外の交流人口の拡大や地域活性化に寄与することを目的に推進していく。 また、整備が必要な老朽化した水景施設については、市の財政状況も踏まえたうえで、現状を維持管理していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	環境基本計画の進行管理
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-1 地球環境の保全
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となって進めていきます。
事務事業の目的・概要	環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため策定された我孫子市環境基本計画について、適切な進行管理を行っています。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指 第二次環境基本計画の策定	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	人件費 (千円)	非常勤職員 (人)	人件費 (千円)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	0	4,524	0.52	0	0.00	4,524	0	0	0	0	4,524
令和3年度	決算見込額	0	4,628	0.52	0	0.00	4,628	0	0	0	0	4,628
令和4年度	当初予算額	5,224	5,332	0.67	126	0.08	10,682	0	0	0	0	10,682
	補正後予算額	3,014	5,332	0.67	126	0.08	8,472	0	0	0	0	8,472
	決算額	2,739	5,332	0.67	126	0.08	8,197	0	0	0	0	8,197

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標	活動 指標	環境基本計画推進委員会の開催回数	回	目標値	2	5			
				実績値	2	2			
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	活動指標である環境基本計画推進委員会の開催回数は新型コロナウイルスの影響もあり目標値を下回ったが、各課の意見や意向を都度確認し、会議の開催に代えることができた。
成果に対する評価	ほぼ順調	第二次環境基本計画について、環境基本計画推進委員会や環境審議会で意見をいただき、庁内外の現状や情勢を踏まえ、適切に策定できた。
総合的な評価	ほぼ順調	現行の環境基本計画について、適切に進行管理を行うことができた。また、令和5年度よりスタートする第二次環境基本計画について、順調に策定することができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和4年度に策定した第二次環境基本計画に基づき、適切に進行管理を行う。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みの推進	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となって進めています。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市域全体の温室効果ガス排出量と吸収量を的確に把握し、取組を推進していきます。 ・地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減するため、市民や事業者へ環境にやさしい暮らしや事業活動に向けた環境意識を向上する取組を進めます。 ・公共施設での再生可能エネルギー利用、省エネルギー設備の導入を進めます。 		
関連する市の計画等	環境基本計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指	あびこエコ・プロジェクトの推進	
		住宅用設備等脱炭素化促進事業	
		環境審議会の開催	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)			総事業費 (a+b)	財源内訳					
			正職員	(人)	合計年度任用職員		(人)	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	11,362	16,791	1.93	0	0.00	28,153	0	9,723	0	0	18,430
令和3年度	決算見込額	12,823	16,732	1.88	0	0.00	29,555	0	0	0	0	29,555
令和4年度	当初予算額	13,509	13,653	1.73	32	0.01	27,194	0	8,850	0	0	18,344
	補正後予算額	12,907	13,653	1.73	32	0.01	26,592	0	8,850	0	0	17,742
	決算額	12,508	13,653	1.73	32	0.01	26,193	0	8,000	0	0	18,193

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	住宅用脱炭素化設備等補助件数	件		120	94	120	113	120
				120	113			

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	活動指標としては目標値を下回ったものの、令和3年度より実績値は増加した。また、海外から部品が届かない等の理由で申請を見送ったケースも複数見られたため、概ね順調であったと考える。
成果に対する評価	ほぼ順調	脱炭素補助金や県の太陽光共同購入事業について、市ホームページや広報、市内公共施設で市民に広く周知した。また、公共施設等に使用可能な補助金等について、庁内で周知した。
総合的な評価	順調	市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減のためのあびこエコ・プロジェクトや、市民に向けた脱炭素化促進事業について、適切に周知・啓発を行うことができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も国内の情報収集に努め、市民への周知や庁内への情報共有を通じ、カーボンニュートラルを推進していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	手賀沼の浄化・再生
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。
事務事業の目的・概要	・手賀沼の水環境の保全を図り、かつての豊かな生態系の復活につなげるため、手賀沼の浄化対策を確実に進めるとともに、浄化再生に係る諸課題の解決に向けて、市民・事業者・行政が連携した広域的な取組を進めます。 ・手賀沼の浄化・再生に向けた啓発事業に取り組み、市民の手賀沼への理解と関心を深めていきます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	手賀沼情報の提供	
	クリーン手賀沼推進協議会の運営	
	根戸幹線排水路移設式沈殿槽の管理	
	手賀沼ふれあい清掃の実施	
	手賀沼及び主要排水路の底質と水質管理	
	手賀沼水環境保全協議会(水手協)事業の推進	
	手賀沼流域フォーラムの開催	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	10,462	18,183	2.09	1,271	0.40	29,916	0	0	0	5,271	24,645
令和3年度	決算見込額	9,562	18,601	2.09	1,306	0.40	29,469	0	0	0	4,777	24,692
令和4年度	当初予算額	9,970	17,631	2.09	1,306	0.80	28,907	0	0	0	4,095	24,812
	補正後予算額	8,983	17,631	2.09	1,306	0.80	27,920	0	0	0	0	27,920
	決算額	8,836	14,412	1.68	1,306	0.80	24,554	0	0	0	0	24,554

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	手賀沼情報の更新回数	回		目標値	16	16	16	16
				実績値	16	16		
活動 指標	手賀沼清掃・外来植物駆除事業の実施回数	回		目標値	5	5	5	5
				実績値	3	4		
活動 指標	異常水質・底質の監視回数	回		目標値	7	7	7	7
				実績値	7	7		
活動 指標	手賀沼流域フォーラム全体会及び我孫子企画回数	回		目標値	15	15	15	15
				実績値	12	11		
活動 指標	クリーン手賀沼推進協議会事業の実施回数	回		目標値	6	6	6	6
				実績値	6	6		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	情報の更新や水質の監視については目標値を達成することができた。台風や荒天のため中止となる事業があったが、いずれも予備日を定めて実施の準備を行っていた。
成果に対する評価	ほぼ順調	外部の方が参加するイベントについてはアンケートや聞き取りによって参加者の意見を伺っており、概ね好評であった。
総合的な評価	順調	コロナ対策を行いながら、概ね順調に事業を実施できた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	本事業は多様な主体による広域的な取り組みを推進するという施策の実現に効果的な事業であり、今後も継続すべき事業である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	環境学習の推進		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的・概要	手賀沼の水質浄化や水環境の保全に関する意識啓発を図るため、市民に手賀沼や環境について学ぶ機会を提供するとともに、市民の環境保全活動を支援していきます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	環境レンジャーへの活動支援			
	環境学習の推進			
	環境年報の作成			
	手賀沼船上学習の実施			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	627	9,657	1.11	0	0.00	10,284	0	0	0	0	10,284
令和3年度	決算見込額	677	9,790	1.10	0	0.00	10,467	0	0	0	0	10,467
令和4年度	当初予算額	745	10,003	1.10	0	0.00	10,748	0	0	0	44	10,704
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	648	9,454	1.03	131	0.06	10,233	0	0	0	0	10,233

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	環境学習事業の実施回数	回		12	12	12	12	12
				12	12			
活動 指標	船上学習・出前講座の実施回数	回		20	20	20	20	20
				22	22			
活動 指標	環境啓発活動の実施回数	回		3	3	3	3	3
				3	3			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	いずれの指標も目標値を達成した。船上学習については、コロナのため船の定員が少なくなったが、参加者からは好評をいただいている事業であり、学習効果も高い。
成果に対する評価	順調	人気のある事業とそうでない事業との差がかなりあるため、来年度に向けて個別に内容を見直したり、我孫子市のSNSで情報発信したりするなどの工夫が必要
総合的な評価	順調	コロナ対策を行いながら、順調に事業を実施できた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、手賀沼浄化及び水環境保全の啓発活動を通じて、市民の自主的な環境保全活動へつなげていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	古利根沼水質汚濁防止		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的・概要	古利根沼の水質汚濁を防止するため、浄化施設を適正に管理するとともに、市民の協力を得て水辺の清掃を実施します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	古利根沼水質汚濁防止			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	11,600	2,088	0.24	0	0.00	13,688	0	0	0	0	13,688
令和3年度	決算見込額	12,589	2,136	0.24	0	0.00	14,725	0	0	0	0	14,725
令和4年度	当初予算額	10,598	2,100	0.24	0	0.00	12,698	0	0	0	0	12,698
	補正後予算額	12,288	2,100	0.24	0	0.00	14,388	0	0	0	0	14,388
	決算額	11,573	1,708	0.19	131	0.06	13,412	0	0	0	0	13,412

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	古利根沼の水質・底質監視回数	回		14	14	14	14	14
				14	14			
活動 指標	中峠排水路浄化施設維持管理回数	回		8	8	8	8	8
				8	8			
成果 指標	古利根沼のCOD値(年平均値)	mg/L		9	9	9	9	9
				8.8	10			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考(評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	指標の目標値通りに事業を実施できた。
成果に対する評価	順調	古利根沼のCOD値については目標値を下回っているため、今後原因の追究が必要
総合的な評価	順調	取手市と協働しながら、順調に事業を実施できた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	本事業は古利根沼の汚濁防止を目的とした浄化施設の維持管理を行っている事業であるため、今後も継続すべき事業である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	適正な生態系の維持	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的・概要	生態系への影響や農業などへの被害を防止するため、外来生物の生息実態の把握、防除や適正な管理を行うとともに、生態系へ及ぼす悪影響について広く啓発し、在来種の保護と新たな外来生物の移入防止を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	外来生物防除事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	人件費 (人)	非常勤職員 (人)	人件費 (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	4	2,610	0.30	0	0.00	2,614	0	0	0	0	2,614
令和3年度	決算見込額	0	2,047	0.23	0	0.00	2,047	0	0	0	0	2,047
令和4年度	当初予算額	0	2,355	0.30	0	0.00	2,355	0	0	0	0	2,355
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	0	2,355	0.30	0	0.00	2,355	0	0	0	0	2,355

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	市内におけるアライグマ・ウシガエル等の防除箇所	箇所	目標値	3	3	3	3	
			実績値		12			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	有識者に適正な環境保全方法を相談し、防除対策を実行しながら市民への注意喚起、啓発を行った。
成果に対する評価	順調	周知を徹底したことにより、アカミミガメ等ペットとして飼育している生物の放流を防いだこと、外来種の目撃情報に迅速に対応したことで、生態系の保全に繋がった。
総合的な評価	順調	生態系への影響及び農業被害を抑止し、在来種の保全を行うことができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	生活衛生課が新設され、課の業務の再編成が行われたこともあり、これまでの指標に加え、次年度からは新たに手賀沼の生態系維持にかかる指標も追加し、引き続き適正な生態系の維持に努めていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	谷津ミュージアム事業の推進
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。
事務事業の目的・概要	手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区について、生物多様性を考慮した環境の保全・再生と次世代に伝えるための取組として谷津ミュージアム事業を進めます。	
関連する市の計画等	環境基本計画	
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	谷津ミュージアムの会の運営	
	谷津田の保全・再生事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	5,087	11,310	1.30	0	0.00	16,397	0	0	0	0	16,397
令和3年度	決算見込額	5,145	11,029	1.25	0	0.00	16,174	0	0	0	0	16,174
令和4年度	当初予算額	5,388	8,066	1.00	18	0.01	13,472	0	0	0	6	13,466
	補正後予算額	5,288	8,066	1.00	18	0.01	13,372	0	0	0	0	13,372
	決算額	5,101	8,066	1.00	18	0.01	13,185	0	0	0	0	13,185

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	谷津ミュージアムでの活動の延べ参加者数	人		900	2,470	1,000	1,100	
				500	357	510	510	
成果 指標	谷津ミュージアム全体の二ホンアカガエルの卵塊数	卵塊		500	357	510	510	
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	普段作業を行っている谷津ミュージアムの会だけでなく、関係者に作業内容を周知することで多くの人が作業に携わることができた。
成果に対する評価	順調	多くの人が作業に携わることによって、広範囲の整備を行うことができ、景観の保全や貴重な生物の保護に繋げることができた。
総合的な評価	順調	維持管理作業を行うにあたり、市と谷津ミュージアムの会が連携し、生物多様性を考慮した環境保全を行うことができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	貴重な自然が残る谷津ミュージアムを行政、市民、ボランティア、農業者、地権者等と協力しながら維持管理活動を行っていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	典型7公害対策事業	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-3 生活環境の保全	
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導・啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。	
事務事業の目的・概要	清潔で快適な環境を維持するため、定期的な環境調査と個別の事業所などへの監視や指導を継続して行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	光化学スモッグ等監視・連絡業務		地下水環境調査
	トリクロロエチレン等地下水調査		道路交通騒音・振動調査
	羽田再拡張事業に関する業務		埋立て条例に基づく規制業務
	開発行為等事前指導		
	環境騒音調査		
	県環境保全条例に基づく揚水規制業務		
	騒音・振動・悪臭 法令・市条例に基づく規制業務		
	大気汚染防止冬期対策		
	地下水汚染浄化対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	6,788	11,484	1.32	0	0.00	18,272	0	720	0	50	17,502
令和3年度	決算見込額	7,223	11,748	1.32	0	0.00	18,971	0	0	0	0	18,971
令和4年度	当初予算額	9,363	12,306	1.32	0	0.00	21,669	0	674	0	40	20,955
	補正後予算額	8,981	12,306	1.32	0	0.00	21,287	0	628	0	40	20,619
	決算額	8,141	12,306	1.32	0	0.00	20,447	0	628	0	20	19,799

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	大気中の窒素酸化物環境調査の調査 箇所数	箇所	目標値	40	40	40	40	40
			実績値		40			
活動 指標	トリクロロエチレン等地下水調査の 調査井戸数	個	目標値	124	124	124	124	124
			実績値		118			
成果 指標	大気中の窒素酸化物環境調査の二酸化 窒素の千葉県目標達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値		100			
成果 指標	トリクロロエチレン等地下水調査の 基準適合率	%	目標値	85	85	85	85	85
			実績値		88			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	入札により委託業者を選定し、予定していた調査を実施できた。
成果に対する評価	ほぼ順調	調査結果から目標を達成していることが確認できた。
総合的な評価	ほぼ順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	清潔で快適な環境を維持するため、典型7公害について法律・条例に基づいた指導を、今後も推進していく必要があるため。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活環境に関する相談業務	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-3 生活環境の保全	
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな環境問題について、市民や事業者への注意喚起や啓発、情報提供を行うとともに、対策を講じて市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。 市民が良好な生活環境を保てるよう、犬や猫の適切な飼養を促すとともに、鳥獣や害虫に関する相談対応に取り組みます。 		
関連する市の計画等	我孫子市第2次放射能対策総合計画（H26.4~H28.3）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	福島第一原発事故に伴う放射能汚染問題への対応		
	公害苦情相談		
	蜂・害虫などの相談業務		
	狂犬病予防事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	人件費 (人)	会計年度任用職員 (人)	人件費 (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	3,980	5,916	0.68	0	0.00	9,896	0	0	0	148	9,748
令和3年度	決算見込額	1,450	3,827	0.43	0	0.00	5,277	0	0	0	25	5,252
令和4年度	当初予算額	4,365	8,302	1.03	3,971	1.39	16,638	0	0	0	1,405	15,233
	補正後予算額	3,933	8,302	1.03	3,971	1.39	16,206	0	0	0	0	16,206
	決算額	3,237	8,302	1.03	3,971	1.39	15,510	0	0	0	1,653	13,857

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	狂犬病予防接種率	%		81	82	83	84	
					81			
活動 指標	公害苦情処理件数	件		31	31	31	31	31
					22			
成果 指標	子どもが多く利用する施設等での放射線量の基準 (0.023マイクロシーベルト未満)の達成率	%		100	100	100	100	100
					100			
成果 指標	公害苦情解決率	%		95	95	95	95	95
					100			
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	問題の二次災害を防ぐため、市民、事業者への注意喚起や啓発を実施し、苦情については速やかに対応した。
成果に対する評価	順調	市民、事業者への案内や啓発等をわかりやすく行うことで、目標値達成に繋がった。
総合的な評価	順調	様々な環境問題に対し、速やかに手続きを進め、生活環境を、保全できた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	
現状通り推進する	市民からの要望が多く、良好な生活環境を保全するため必要不可欠である。今後も現状通り推進していく。

令和4年度
課の目標管理書

課名：環境経済部 クリーンセンター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・循環型社会の形成に向け、市民、事業者と行政の協働により、分別の徹底、ごみ減量・リサイクル推進認定事業所の拡大を図り、ごみ減量及び資源化を推進します。

・ごみ処理については、市民の良好な環境を維持するため、滞りなく収集するとともに、施設の適正な維持管理に努めます。また、放射性物質を含むごみ焼却灰は、適正管理、処分を行います。

・新廃棄物処理施設の整備については、廃棄物処理施設整備基本計画、新廃棄物処理施設整備詳細計画、リサイクルセンター整備詳細計画及び我孫子市循環型社会形成推進地域計画に基づき、令和5年4月の稼働に向け着実に事業を進めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
全取組を滞りなく実施することにより、ごみ減量や資源化を推進し、循環型社会の形成に寄与することができました。また、予定どおり廃棄物処理施設（焼却施設）の更新を行うことができました。	全取組を実施することにより、循環型社会の形成に寄与することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

循環型社会形成の推進を図るため引き続き事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業	
	担当部署名	環境経済部 クリーンセンター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしながら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的・概要	ごみを集積所まで出すことが困難で、他に協力が得られないひとり暮らしの高齢者や障害者に対し、声掛けを行いながらごみを戸別収集することで生活を支援します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集業務委託 R3~R8年度 54,980千円		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	6,818	6,090	0.70	0	0.00	12,908	0	0	0	0	12,908
令和3年度	決算見込額	6,730	6,230	0.70	0	0.00	12,960	0	0	0	0	12,960
令和4年度	当初予算額	6,380	9,383	1.20	0	0.00	15,763	0	0	0	0	15,763
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	6,378	9,383	1.20	0	0.00	15,761	0	0	0	0	15,761

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	適正な審査に基づく決定率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値		100			
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	申請に対して適正に審査を実施することができた。
成果に対する評価	順調	支援が必要な市民に対し、適切な対応ができた。
総合的な評価	順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	高齢化が進み集積所へごみを排出できない市民が増加しているため、引き続き必要不可欠な事務であるため。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	新クリーンセンターの整備・運営	
	担当部署名	環境経済部 クリーンセンター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となって進めていきます。	
事務事業の目的・概要	・廃棄物を適正に処理するとともに、クリーンセンターで廃棄物を焼却した際の熱をエネルギーとして回収し、余熱を利用した発電などを行うことで地球環境への負荷低減を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市一般廃棄物対策基本計画（平成28年度～令和4年度）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	新クリーンセンターの整備	
継続費設定事業	新クリーンセンター整備事業（新廃棄物処理施設実施設計・建設工事） R1～R4年度 11,866,935千円、新クリーンセンター整備事業（新廃棄物処理施設実施設計・建設モニタリング業務） R1～R4年度 97,834千円		
債務負担行為設定事業	新廃棄物処理施設運営・維持管理業務委託 R5～R24年度 11,237,695千円		

2. 事業費と財源内訳（Plan & Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	臨時職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	841,508	28,710	3.30	0	0.00	870,218	137,189	0	324,800	372,447	35,782
令和3年度	決算見込額	6,067,525	26,700	3.00	0	0.00	6,094,225	2,047,488	0	912,800	281,700	2,852,237
令和4年度	当初予算額	5,543,335	24,730	2.60	0	0.00	5,568,065	722,952	0	3,648,100	1,168,206	28,807
	補正後予算額	5,536,497	24,730	2.60	0	0.00	5,561,227	722,952	0	3,623,300	1,184,012	30,963
	決算額	5,519,475	24,730	2.60	0	0.00	5,544,205	722,952	0	3,610,600	1,181,881	28,772

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

指標	種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	活動 指標	新廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）整備事業の進捗率	%		目標値	55	100	-	-
					実績値	55	100		
活動 指標	活動 指標	新廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）の円滑な運転稼働率	%		目標値	-	-	100	100
					実績値	-	-		
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	計画どおり順調に工事を進めることができた。
成果に対する評価	順調	計画どおり順調に工事を進め、無事に竣工することができた。
総合的な評価	順調	市内で発生する一般廃棄物（可燃ごみ）の安定的な処理を継続するため、新廃棄物処理施設の更新は不可欠の事業である。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	新廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）が円滑に運転できるよう引き続き事業を推進する。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ごみ減量と資源化の推進	
	担当部署名	環境経済部 クリーンセンター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となって進めています。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への負荷を可能な限り減らすため、ごみの減量と資源化を進め、最終処分量の削減に取り組みます。 ・分別ルールの徹底やプラスチックごみの発生抑制、食品ロスの削減などについて啓発活動に取り組みます。 ・3R（ごみの発生抑制・再利用・再生利用）の推進という観点から、市民がごみの減量や資源化に関することを体験しながら学べる機能などを有する資源化施設の整備を検討します。 		
関連する市の計画等	我孫子市一般廃棄物対策基本計画（平成28年度～令和4年度）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	クリーンセンター既設焼却炉の解体	可燃・粗大ごみ収集事業
	指	資源化施設の検討	ごみ集積所の設置事業
		ごみ減量・リサイクル推進事業所認定制度事業	施設の運転維持管理事業
		ごみ減量・資源化の啓発事業	廃棄物最終処分事業
		資源回収・処理・売り払い業務	排出指導対策事業
		生ごみリサイクル補助事業	清掃手数料の徴収事業
		焼却灰処理事業（放射能対策）	剪定枝木等のチップ化事業（放射能対策）
		震災廃棄物の放射線測定事業	廃棄物処理計画の策定
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	焼却炉運転業務委託 R3～R4年度 202,970千円、資源化施設管理運営業務委託 R3～R5年度 84,489千円、終末処理場施設運転維持管理業務委託 R3～R5年度 55,143千円、久寺家汚水処理場施設維持管理業務委託 R3～R5年度 17,841千円、粗大ごみ収集業務委託 R3～R8年度 113,850千円、資源回収及び資源化処理業務委託 R3～R8年度 1,590,368千円、ペットボトル及びプラスチック回収業務委託 R3～R8年度 204,600千円、剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 R3～R8年度 209,154千円、空き缶中間処理業務委託 R3～R8年度 116,945千円、し尿処理手数料管理システム更新 R3～R9年度 12,240千円		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1,580,696	70,905	8.15	0	0.00	1,651,601	9,731	0	0	0	1,641,870
令和3年度	決算見込額	1,682,702	71,200	8.00	3,521	1.00	1,757,423	0	0	0	0	1,757,423
令和4年度	当初予算額	1,714,803	51,979	7.90	4,412	2.90	1,771,194	0	0	0	534,115	1,237,079
	補正後予算額	1,720,481	51,979	7.90	4,412	2.90	1,776,872	0	0	0	534,115	1,242,757
	決算額	1,665,233	51,979	7.90	4,412	2.90	1,721,624	0	0	0	544,045	1,177,579

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	クリーンセンター既設焼却炉の解体作業の進捗率(事業費ベース)	%	目標値	-	-	3	4	-
			実績値	-	-			
活動 指標	資源化施設の検討についての進捗率	%	目標値	-	100	-	-	-
			実績値	-	100			
指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	それぞれの事業を着実に推進することができた。
成果に対する評価	順調	それぞれの事業を着実に推進することで、一般廃棄物の安定的な処理及び資源化を行うことができた。
総合的な評価	順調	生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため、一般廃棄物の収集運搬、処理、資源化、最終処分を行うことは極めて重要な事業である。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	それぞれの事業を引き続き推進することによりごみの減量及び資源化の推進に努めていく。 剪定枝木については、引き続き放射能濃度を注視しながら、処理方法を検討していく必要がある。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高度処理型合併浄化槽設置整備補助事業
	担当部署名	環境経済部 クリーンセンター
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。
事務事業の目的・概要	河川へ流入する生活排水を浄化するため、住宅への高度処理型合併浄化槽の設置を推進します。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	浄化槽対策事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	10,113	4,450	0.50	0	0.00	14,563	4,747	1,178	0	0	8,638
令和3年度	決算見込額	11,724	4,450	0.50	0	0.00	16,174	2,245	1,653	0	0	12,276
令和4年度	当初予算額	16,024	3,925	0.50	0	0.00	19,949	4,747	1,166	0	0	14,036
	補正後予算額	15,735	3,925	0.50	0	0.00	19,660	4,164	3,194	0	0	12,302
	決算額	13,525	3,925	0.50	0	0.00	17,450	1,962	2,898	0	0	12,590

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	適正な審査に基づく補助金交付率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	市民の申請に応じて適正な審査を行い、補助金を交付することができた。
成果に対する評価	順調	各家庭の合併処理浄化槽の設置に対する補助を行うことにより、市民の設置費用負担軽減及び生活排水による公共用水域に対する環境負荷の軽減を図ることができた。
総合的な評価	順調	下水道未整備区域から公共用水域へ流入する生活排水対策のため、高度処理型合併処理浄化槽の設置補助を行うことは効果的な事業である。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	生活排水対策として引き続き高度処理型合併処理浄化槽の補助事業を推進する。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	不法投棄・路上喫煙防止対策事業
	担当部署名	環境経済部 クリーンセンター
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-3 生活環境の保全
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。
事務事業の目的・概要	不法投棄や自動販売機への回収容器の設置、野焼き、犬の糞害、歩きたばこに対する指導や監視、啓発活動を実施します。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	不法投棄防止対策事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	(人)	会計年度任用職員 (人)	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1,303	5,220	0.60	0	0.00	6,523	0	0	0	0	6,523
令和3年度	決算見込額	993	6,230	0.70	0	0.00	7,223	0	0	0	0	7,223
令和4年度	当初予算額	785	8,598	1.10	0	0.00	9,383	0	0	0	0	9,383
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	309	8,598	1.10	0	0.00	8,907	0	0	0	0	8,907

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標	活動 指標	不法投棄回収量	トン	目標値	5	5	5	5	
				実績値		2			
	指標				目標値				
					実績値				
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	定期的な不法投棄パトロールを実施できた。
成果に対する評価	順調	不法投棄パトロールを実施したことにより不法投棄の削減につながった。
総合的な評価	順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	良好な生活環境を維持するため、定期的な不法投棄パトロールを実施し、環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止するため。

令和4年度 課の目標管理書

課名：環境経済部 商業観光課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・今年度は、地域の活性化に向けた商業と観光の振興を図るための方向性を明確化するとともに、市内各地域の特性を活かした商業と観光資源を取り巻く現状と課題を分析したうえで、商業と観光の基本目標等の体系を示し、効果的な施策の展開を図る新たな「（仮称）我孫子市商業観光方針」を策定します。

・商業の振興では、商工会と連携し地域の事業者とともに、商業振興策を進めていきます。特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けている事業者支援策として、商業活性化策の推進事業や商店街活性化補助金の活用などの事業者支援を実施していきます。

・観光の振興では、豊かな自然や歴史、文化など観光資源を積極的に活用しさらなる観光振興策を進めるとともに、手賀沼観光施設誘導方針に基づき観光客をさらに呼び込みもてなす環境づくりを進め、交流人口の拡大を図ります。レンタサイクル・ミニ鉄道では、冬季期間の試験的運行を実施するとともに、観光パンフレットの作り替えとして、JR東日本と協力し、我孫子市内のおすすめスポットやイベントなど掲載した小冊子「小さな旅」を作成します。また、インフォメーションセンター「アビシルベ」を活用し、我孫子の魅力や観光情報を市内外に向け情報発信を行ってまいります。

・消費者トラブルの解決を図るため、相談の受付、苦情処理等にかかるあっせんを行います。また、消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知識を身に付けられるよう、関係する団体や機関と連携して消費者への啓発や必要な情報の収集・提供を行います。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、すべての項目において取り組みを実施しました。

特に、向こう12年間の商業と観光の振興を図るための方向性を示した「我孫子市商業観光まちづくり大綱」を策定でき、今後の取り組みに向けた基盤が整いました。また、消費者に向けた取り組みでは啓発にも力を入れるとともに、斡旋も積極的に実施し、高い解決率となりました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
商業振興における事業者支援、観光振興における来訪者の呼び込み、消費者啓発における自立支援などいずれも効果があったものと評価しています。	商業観光振興においてはコロナ禍という非常に厳しい局面でしたが、今後につながる取り組みができたものと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今回定めた「我孫子市商業観光まちづくり大綱」に立脚し、持続可能な商業振興、観光振興を進めていくことが非常に重要であると考えます。また、消費者の自立を促す取り組みも、通信販売によるものやインターネットを介したより複雑化した問題も増加しており、今後、さらに取り組むべきものと考えています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消費者啓発事業	
	担当部署名	環境経済部 商業観光課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-3 防犯対策の推進	
	施策の展開内容	防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。 また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。	
事務事業の目的・概要	国民生活センターや千葉県消費者センター、千葉県弁護士会などと連携し、相談体制の確保、消費生活に関する知識の普及や情報提供などの啓発活動に取り組むことで、消費者被害の未然防止や早期発見、解決を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	消費生活相談事務		
	消費生活展の実施		
	消費者安全確保地域協議会設置の検討		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	合計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	991	4,350	0.50	12,736	4.60	18,077	0	38	0	0	18,039
令和3年度	決算見込額	2,025	4,895	0.55	13,448	4.60	20,368	0	226	0	0	20,142
令和4年度	当初予算額	1,751	11,368	1.15	11,781	4.00	24,900	0	46	0	0	24,854
	補正後予算額	1,751	11,368	1.15	9,781	4.00	22,900	0	46	0	0	22,854
	決算額	1,463	10,583	1.05	9,425	3.20	21,471	0	99	0	0	21,372

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	消費生活相談斡旋解決割合	%		目標値	90	90	90	90
				実績値		98		
成果 指標	消費生活講座参加者	人		目標値	100	100	100	100
				実績値	95	1,026		
成果 指標	消費生活展参加者	人		目標値	800	800	800	800
				実績値	182	2,116		
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	順調に斡旋解決しました。
成果に対する評価	順調	成年年齢引き下げ改正に伴う講座を行ったため、参加者の増加となりました。
総合的な評価	順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止のなかで令和5年2月の消費生活展の参加者は少なかったですが、令和4年8月の前年度のパネルを活用した消費生活パネル展を実施しており、それを含め参加人数は増加となりました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	消費者トラブルの解決を図るため、相談の受付、苦情処理等にかかる斡旋、また、消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知識を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費者への啓発や必要な情報の収集・提供を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	商業活性化策の推進	
	担当部署名	環境経済部 商業観光課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-3 商工業の振興	
	施策の展開内容	中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。	
事務事業の目的・概要	地域経済の活性化のため、商工会と協力して事業者同士の連携を促し、組織力が向上するよう、商店会や商工業者などの取組を支援するとともに、市内での消費を促していきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子市ふるさと産品育成事業		
	我孫子市産業まつり		
	商業活性化策の推進（商業観光方針の策定など）		
	商工会育成事業		
	キャッシュレス決済ポイント付与事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	人件費 (人)	臨時職員 (人)	人件費 (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	242,879	23,055	2.65	0	0.00	265,934	229,575	0	0	0	36,359
令和3年度	決算見込額	213,848	17,415	1.95	0	0.00	231,263	197,391	0	0	0	33,872
令和4年度	当初予算額	225,279	12,855	1.50	0	0.00	238,134	0	0	0	0	238,134
	補正後予算額	158,050	12,855	1.50	0	0.00	170,905	0	0	0	0	170,905
	決算額	172,893	12,855	1.50	0	0.00	185,748	160,509	0	0	0	25,239

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	「ふるさと産品」推奨品の品数	品		目標値	28	28	28	28
				実績値	26	26		
成果 指標	産業まつり 来場者数	人		目標値	16,000	16,000	16,000	16,000
				実績値	中止	中止		
成果 指標	我孫子市商工会への加入率	%		目標値	50	50	50	50
				実績値	46.0	46.4		
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	ふるさと産品は1品を増加することができましたが、1品が廃止となったため、同じ数にとどまりました。
成果に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となったり、後継者不足などで事業者の廃業なども見られましたが、商工会と連携して補助金の活用やキャッシュレス決済ポイント付与事業など、商業振興に取り組むことができ、組織率も上昇しました。
総合的な評価	ほぼ順調	コロナ禍にあって厳しい社会情勢ではありましたが、状況に応じた柔軟な取り組みを商工会と連携して行うことができ、一定程度の効果を上げることができたものと考えます。また、我孫子市商業観光まちづくり大綱も策定でき、今後へつながる成果となりました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	コロナ禍からの正常化に向けて、これまで行ってきた事業者支援を継続するとともに、我孫子市商業観光まちづくり大綱に基づいて、さらに効果的な取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	観光振興策の推進	
	担当部署名	環境経済部 商業観光課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-5 交流・関係人口の拡大	
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。	
事務事業の目的・概要	手賀沼を中心としたさまざまな地域資源を活かして、市内外から多くの人が訪れ親しんでもらえるよう、手賀沼花火大会をはじめとするイベントの開催や誘客に寄与する環境づくりに努めています。		
関連する市の計画等	我孫子市観光振興計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	観光振興策の推進		
	3市連携周遊事業		
	あびこカップまつり		
	手賀沼周遊レンタサイクル・ミニ鉄道運営事業 (冬季試験運営、キャッシュレス決済の検討など)		
	手賀沼花火大会		
	指 農産物直売所アンテナショップ跡地活用		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	15,527	12,180	1.40	0	0.00	27,707	0	0	0	10,898	16,809
令和3年度	決算見込額	10,217	14,685	1.65	0	0.00	24,902	0	0	0	7,100	17,802
令和4年度	当初予算額	26,507	12,855	1.50	7	0.004	39,369	0	0	0	17,561	21,808
	補正後予算額	15,745	12,855	1.50	7	0.004	28,607	0	0	0	7,600	21,007
	決算額	14,372	12,855	1.50	7	0.004	27,234	0	0	0	8,725	18,509

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	手賀沼周遊レンタサイクル・手賀沼公園ミニ鉄道運営日数 (冬季試験運営期間を除く)	日		目標値	111	109	111	112
				実績値	95	100		
成果 指標	3市連携周遊事業 スタンプラリー応募者数	人		目標値	2,500	2,520	2,540	2,600
				実績値	中止	中止		
成果 指標	カップまつり来場者数	人		目標値	27,000	27,100	27,200	27,500
				実績値	中止	7,000		
成果 指標	手賀沼周遊レンタサイクル・手賀沼公園ミニ鉄道利用者数	人		目標値	38,000	38,000	38,000	38,000
				実績値	33,127	39,546		
成果 指標	手賀沼花火大会来場者数	人		目標値	150,100	150,200	150,300	150,500
				実績値	中止	中止		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	手賀沼公園ミニ鉄道、手賀沼周遊レンタサイクルは、安定的に運営でき、法律や県条例などの改正等により必要となった保険の適用やヘルメット着用への対応も適時とすることができました。
成果に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等は中止や縮小が引き続きありましたので、来場者数などの面では効果を計ることができない状況ではありましたが、ミニ鉄道・レンタサイクルでは試験運営も予想以上に利用者が多く、成果が現れました。
総合的な評価	ほぼ順調	コロナ禍にあつて厳しい社会情勢ではありましたが、状況に応じた柔軟な取り組みを商工会と連携して行うことができ、一定程度の効果を上げることができたものと考えます。また、我孫子市商業観光まちづくり大綱も策定でき、今後へつながる成果となりました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	コロナ禍からの正常化に向けて、これまで行ってきた観光振興を継続するとともに、我孫子市商業観光まちづくり大綱に基づいて、持続可能な観光振興を目指し、さらに効果的な取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	観光情報の発信	
	担当部署名	環境経済部 商業観光課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-5 交流・関係人口の拡大	
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。	
事務事業の目的・概要	多くの人に繰り返し訪れてもらえるよう、自然や歴史・文化をはじめとする市の魅力や観光情報をさまざまな方法で効果的に発信していきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	マスコットキャラクターの活用		
	我孫子インフォメーションセンター運営事業		
	指 小さな旅パンフレット作成		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	我孫子インフォメーションセンター指定管理委託 R1~R5年度 128,168千円		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	合計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	23,964	4,785	0.55	0	0	28,749	0	0	0	0	28,749
令和3年度	決算見込額	25,844	7,120	0.80	0	0	32,964	0	0	0	0	32,964
令和4年度	当初予算額	33,560	12,070	1.40	28	0.016	45,658	8,705	0	0	0	36,953
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	32,244	12,070	1.40	25	0.016	44,339	7,557	0	0	0	36,782

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	キャラクターの着ぐるみ貸出件数	件		目標値	24	50	50	50
				実績値	33			
活動 指標	小さな旅パンフレット配布数 (累計)	冊		目標値	5,000	10,000	15,000	-
				実績値	-	3,000		
成果 指標	我孫子インフォメーションセンター 公式サイト年間アクセス数	回		目標値	53,600	54,000	54,000	54,000
				実績値	84,580	124,930		
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	コロナ禍からの正常化の兆しから、さまざまなイベント復活などを受けてマスコットキャラクターの着ぐるみの貸し出しは増加しました。また、JR東日本との連携によるパンフレットも予定通り作成でき、首都圏主要80駅のほか多くの施設に配架できました。
成果に対する評価	順調	我孫子インフォメーションセンターの公式サイトへのアクセス数は激増し、コロナ禍であってもこまめな更新や動画配信の工夫などを行った成果であり、アフターコロナへの良い兆候と考えています。
総合的な評価	順調	新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に正常化していくなかで、我孫子市に訪れようとする方への情報発信を行うことができたものと考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	コロナ禍からの正常化に向けて、これまで行ってきた観光情報の発信を着実に実施するとともに、我孫子市商業観光まちづくり大綱に基づいて、持続可能な観光振興を目指し、さらに効果的な取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	石けん利用の推進
	担当部署名	環境経済部 商業観光課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-3 生活環境の保全
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。
事務事業の目的・概要	我孫子市石けん利用推進協議会委員の協力のもと、環境にやさしく安全な石けんを、各種イベントなどで啓発し、推進する。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	石けん利用の推進	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	137	1,305	0.15	887	0.40	2,329	0	0	0	0	2,329
令和3年度	決算見込額	366	1,335	0.15	1,015	0.40	2,716	0	0	0	0	2,716
令和4年度	当初予算額	190	5,218	0.55	35	0.021	5,443	0	0	0	0	5,443
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	70	4,433	0.45	0	0	4,503	0	0	0	0	4,503

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	石けん利用推進協議会開催回数	回		目標値	2	2	2	2
				実績値	2	2		
活動 指標	石けん利用推進対策審議会開催回数	回		目標値	1	1	1	1
				実績値	1	0		
活動 指標	イベントでの啓発参加回数	回		目標値	4	6	6	6
				実績値	3	4		
成果 指標	各種イベントでの啓発参加者	人		目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
				実績値		2,230		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	予定通り実施できました。
成果に対する評価	順調	新型コロナウイルス感染症の影響下ではありましたが、活動を実施、啓発することができました。
総合的な評価	順調	新型コロナウイルス感染症の影響下ではありましたが、参加者もあり、効果があったものと考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	安全な洗浄剤である石けんの利用を進めています。

令和4年度
課の目標管理書

課名：環境経済部 企業立地推進課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・企業立地方針に基づき、新たな企業の誘致及び住工混在解消に向けた施策を進めます。
- ・「創業支援等事業計画」に基づき、起業・創業に向けた支援策を実施し、起業・創業者を増やすことで市内経済の活性化を図ります。
- ・中小企業等への資金融資が円滑に行われるよう、千葉県信用保証協会・市内金融機関と連携を図ります。
- ・就労を支援するためハローワークと連携し「我孫子市地域職業相談室」の効果的な運営を図るとともに、各世代へのセミナー及び説明会を実施し、雇用の促進を図れるように努めます。
- ・公園坂通り施設の事業者を公募選定し、民間活力により公園坂通りの賑わいの創出を図るとともに、地域経済の活性化につなげます。

2. 課の目標への取組結果

- ・企業立地方針に基づく柴崎産業用地整備については、関係機関協議により、調整池をはじめとした整備方針の変更が必要となりましたが、利根川への排水等について理解が得られました。
- ・実践創業塾、ビジネス交流会、女性起業支援フォーラムを開催するとともに関係機関と連携を図り、起業・創業の支援を展開しました。
- ・千葉県信用保証協会・市内金融機関と連携を図りながら、市内中小企業等への融資に対して利子補給による支援を実施しました。
- ・通年で地域職業相談室を適切に運営するとともに、千葉県と連携し中高年・シニア向けの再就職セミナーを開催しました。
- ・公園坂通り施設活用事業者を決定し、協定を締結するとともに令和5年度5月の開業に向け準備を進めました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
柴崎産業用地においては、令和4年度に土地利用計画案の策定を行う予定でしたが、関係機関との協議により、調整池の構造を含め計画の変更が必要となりました。ただし、協議を重ねる中で、利根川への排水、国道法面の盛土など、事業を進める上で重要となる部分で国の理解を得ることができました。	柴崎産業用地整備に関しては、市内事業者が大きく期待する事業であり、着実に進めていく必要があります。産業用地は、永続的に使用するものであるため、整備費用だけに捉われず、将来に渡っての安全性及び維持管理の優位性などを考慮し進める必要があります。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

- ・柴崎地区産業用地整備事業において、整備方針の変更及び資材等高騰を考慮した我孫子市建設負担金及び事業期間の見直しが必要です。
- ・障害者雇用促進奨励金及び障害者職場実習奨励金について、関係部課と協議し、より障害者雇用機会の創出が図られる施策を検討する必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	企業が進出・操業しやすい環境づくり（住工混在の解消、企業が進出しやすい環境整備）	
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-1 企業立地の推進	
	施策の展開内容	企業立地を推進することで、新たな雇用の場を創出し、職住近接による定住化を図ることで恒久的な財源を確保するとともに、住工混在の解消や地域産業の活性化、既存企業の流出防止に取り組みます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、産業用地を創出し、企業誘致や住工混在の解消などに取り組みます。 ・企業立地を促進させるため、新規立地による設備投資及び雇用を創出する企業に対して支援を行うとともに、再投資により事業の拡大及び雇用の拡大を図る既存企業に対して支援を行います。 		
関連する市の計画等	我孫子市企業立地方針		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	柴崎地区産業用地整備事業	
	指	オフィス開設等促進補助事業	
		企業立地促進補助金交付事業	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	柴崎地区産業用地公共基盤施設建設負担金 R4~R8年度 462,462千円		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	5,078	11,310	1.30	0	0.00	16,388	0	2,486	0	0	13,902
令和3年度	決算見込額	1,152	20,915	2.35	0	0.00	22,067	0	0	0	0	22,067
令和4年度	当初予算額	3,099	21,000	2.40	21	0.01	24,120	0	0	0	0	24,120
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	3,062	21,000	2.40	21	0.01	24,083	0	0	0	0	24,083

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	柴崎地区産業用地整備事業に係る土地利用計画（案）策定の進捗率	%		目標値	100			
				実績値	20			
活動 指標	柴崎地区産業用地整備事業に係る関係機関との事前協議進捗率	%		目標値		100		
				実績値				
活動 指標	柴崎地区産業用地整備事業の造成工事進捗率	%		目標値			50	100
				実績値				
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調とはいえない	関係機関協議により、柴崎産業用地内の調整池を中心としたインフラ設備等の見直しを行う必要が生じた。
成果に対する評価	ほぼ順調	当初のスケジュールに遅延は発生したものの、課題となっていた利根川への排水について、理解を得ることができた。
総合的な評価	順調とはいえない	令和4年度内の策定を目標としていた土地利用計画（案）について、関係機関協議が整わなかったことにより、策定の基礎となる測量・地質調査が実施できなかった。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	関係機関協議により、柴崎産業用地内の調整池を中心としたインフラ設備等の見直しを行う必要が生じた。今後は、長期に渡って使用するインフラ施設の安全性・管理性を第一に考慮し、整備計画を検討するとともに、我孫子市が協定に基づき支援する建設負担金についても再検討を行う。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	就労支援・雇用環境の充実	
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-2 就労支援の充実	
	施策の展開内容	関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを实践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実に努めます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 「我孫子市地域職業相談室」において、求人情報を提供するとともに職業相談などの支援を行います。 働きやすい職場づくりを事業者に促すとともに、雇用環境の充実に努める事業者に対して支援を行います。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	地域職業相談室の運営		
	就労支援事業		
	中小企業退職金共済掛金補助金		
	障害者雇用の奨励金		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	合計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	10,452	5,307	0.61	0	0.00	15,759	0	0	0	0	15,759
令和3年度	決算見込額	10,984	4,628	0.52	0	0.00	15,612	0	0	0	0	15,612
令和4年度	当初予算額	7,365	4,158	0.47	3,895	1.20	15,417	0	0	0	0	15,417
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	7,019	4,158	0.47	3,895	1.20	15,072	0	0	0	0	15,072

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

指標	種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	活動	中小企業退職金共済掛金補助金の交付件数	件	目標値	85	90	95	100	100
					実績値	70	63		
活動指標	活動	障害者雇用促進奨励金及び障害者職場実習奨励金の交付件数	件	目標値	11	12	13	14	15
					実績値	8	9		
成果指標	成果	我孫子市地域職業相談室の月平均利用者数	人	目標値		340	340	340	340
					実績値	319	321		
				目標値					
					実績値				
				目標値					
					実績値				
				目標値					
					実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	労政に係る補助制度を活用してもらうことで、雇用環境の充実に繋がった。
成果に対する評価	順調	地域職業相談室に関しては、コロナ禍において外出を控える方もいる中、企業の経済活動が戻ってきたこともあり、目標値をやや下回ったが、十分な成果を上げることができた。
総合的な評価	順調	労政施策全体として、事業者・市民の要望に応えることができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	コロナ禍の影響も有り、目標値には及ばなかったが、地域職業相談室に関しては、通年で一定の利用者を確保できた。今後は、より利用しやすくなるよう対策を講じていくことが必要となる。障害者雇用促進奨励金及び障害者職場実習奨励金については、本制度が雇用機会の拡大に繋がっていないという側面もあるため。制度の見直しも含め、関係課と協議・連携し、より障害者の就労に繋がる施策を検討していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	中小企業の支援
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-3 商工業の振興
	施策の展開内容	中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。
事務事業の目的・概要	地域に根差した事業者の経営の安定や事業の発展のため、中小企業に対して資金の貸付けや利子補給など社会状況の変化や経営状況に合わせた支援を行います。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	中小企業への資金融資	
	永年勤続表彰	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	136,001	2,958	0.34	0	0.00	138,959	0	0	0	0	138,959
令和3年度	決算見込額	130,514	2,492	0.28	0	0.00	133,006	0	0	0	0	133,006
令和4年度	当初予算額	134,832	2,450	0.28	1,312	0.40	138,594	0	0	0	125,010	13,584
	補正後予算額	131,872	2,450	0.28	1,312	0.40	135,634	0	0	0	125,020	10,614
	決算額	131,689	2,450	0.28	1,312	0.40	135,451	0	0	0	125,025	10,426

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標	活動 指標	我孫子市中小企業融資制度による利子補給件数	件	目標値	310	315	320	325	330
				実績値	179	164			
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	過年度の新規申込件数の減少に伴い、令和4年度も少ないものとなったが、直近では新規申込みも増えてきており、ほぼ順調と判断した。
成果に対する評価	順調	我孫子市中小企業融資制度により、経営の合理化、企業の安定に要する設備・運転資金を必要とする市内中小企業者の支援を行うことができた。
総合的な評価	ほぼ順調	過年度の新規申込件数の減少に伴い、令和4年度も少ないものとなったが、直近では新規申込みも増えてきており、ほぼ順調と判断した。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響でセーフティネット貸付 (実質無利子) の利用が増え、市の融資の新規申し込み件数が減少した影響もあり、目標値には及ばなかったが、徐々に新規申し込み件数は増加してきており、引き続き、市内事業者の発展のため推進していく必要がある。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	起業・創業の支援
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-3 商工業の振興
	施策の展開内容	中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。
事務事業の目的・概要	起業・創業者数の増加を図るため、起業するための学びの場を提供するとともに、創業時における支援策を充実させます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指 公園坂通り活性化に向けた起業等支援事業	
	起業・創業の支援	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)			総事業費 (a+b)	財源内訳					
			正職員	(人)	合計年度任用職員 (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
令和2年度	決算額	3,618	2,175	0.25	0	0.00	5,793	0	0	0	152	5,641
令和3年度	決算見込額	5,565	3,560	0.40	0	0.00	9,125	0	0	0	184	8,941
令和4年度	当初予算額	15,214	6,608	0.75	2,761	0.84	24,583	0	0	0	240	24,343
	補正後予算額	56,058	6,608	0.75	2,761	0.84	65,427	0	0	0	245	65,182
	決算額	15,715	6,608	0.75	2,761	0.84	25,084	0	0	0	197	24,887

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	公園坂通り施設を活用する事業者選考・施設改修工事等の事業進捗率	%		目標値	100			
				実績値	80			
活動指標	創業支援補助金の交付件数	件		目標値	9	10	11	12
				実績値	11	12		
成果指標	市主催の創業塾、起業個別相談会、女性起業支援フォーラム、ビジネス交流会の延べ参加者数	人		目標値	633	718	803	1,058
				実績値	575	639		
成果指標	公園坂通り施設の年間利用者数	人		目標値	600	1,200	1,350	1,800
				実績値	0			
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	公園坂通り施設の活用に関しては、事業未完了であるものの、令和5年5月に開業したことを踏まえ順調と判断した。創業支援補助金については、創業者の申請に応じ、支援を行うことができた。
成果に対する評価	順調	開業前の公園坂通り施設の利用者数は無かったものの、各種事業者・創業者支援は目標値を上回る参加があり順調と判断した。
総合的な評価	順調	公園坂通り施設活用については、事業者が決定し施設改修に着手することができ、順調に進めることができた。起業・創業支援に関しては、多くの起業・創業者に対して支援を行い目標上回る成果を上げることができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	起業・創業者の増加は、市の活性化に直結するものであり、引き続き推進していく必要がある。

令和4年度 課の目標管理書

課名：環境経済部 農政課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・農業振興基本条例をもとに、農業振興に係る計画と施策の展開を図ります。

・認定農業者、農業後継者、新規農業参入者等の担い手農家を確保・育成するため、人・農地プランの活用、農地のあっ旋・集積、補助・融資制度の活用、日秀新田市民農園での研修・実践等の支援を行います。

・男女共同の推進とともに、農産物直売事業を軸とした6次産業化に取組む農業者（組織）を育成・支援します。又、農業振興のため農業拠点施設の管理・運営を確実に進めます。

・手賀沼沿い農地活用計画に基づき、排水対策等の施策を展開するとともに、手賀沼沿い農用地等活用事業補助金の活用を広げ、農地の活用と保全を積極的に支援します。

・日秀新田市民農園の充実を図りつつ、高野山ふれあい市民農園の跡地や水生植物園の利用を踏まえた高野山新田地区のあり方の検討を進めます。

・環境保全型農業を推進するため、ちばエコ農産物認証取得等に取組む農家を支援します。また、あびこエコ農産物認証事業を普及・推進し、環境保全型農業に取り組む農業者の裾野を広げます。

・地産地消を推進するため、あびこ型「地産地消」推進協議会の活動を充実させ、協議会及び農業者が取組む学校給食への地元農産物供給支援事業や援農事業、交流事業等を拡充します。

・農産物残留農薬検査や農産物放射能検査を行い、市民の安全・安心の確保と農業経営への風評等被害の軽減を図ります。又、鶏伝染病対策や植物防疫対策を進めます。

・優良な農地を確保するとともに、農地中間管理機構も活用しながら担い手農家への農地の利用集積を進めます。又、国営総合農地防災事業をはじめとする農業用施設の機能低下や老朽化等にかかる対策事業、同施設の適切な維持管理を国・県・関係市・土地改良区等と連携して進めます。

・植物防疫事業については、近年、農作物への被害が増大しているカメムシ対策を市内で広域的に取り組むとともに、コブハクチョウによる農業被害防止対策については千葉県や近隣市と連携し対策を講じます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり全取組を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響や原油価格・物価高騰に対し支援事業を実施しました。

3. 取組結果の対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
課の目標に基づき取組を実施しましたが、依然として物価高騰等による農業経営の圧迫が生じているため、引き続き農業経営の安定化に向けた取組等を行っていきます。	新型コロナウイルス感染症の影響や原油価格・物価高騰により、農業経営の圧迫が生じていることから、今後も農業経営の安定化に向けた事業を推進していきます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

農業生産基盤の整備などによる生産性の向上、農業拠点施設等との連携による付加価値の創出や地産地消の推進、担い手の育成と新規就農者の確保などにより、農業の持続的な発展に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	農業の生産性の維持向上
	担当部署名	環境経済部 農政課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-4 農業の振興
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。
事務事業の目的・概要	農業の生産性の維持・向上を図るため、集落・地域の話し合いにより、今後の地域の中心となる担い手を定め、農地集積を進める「人・農地プラン」を作成し、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、先進的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤の維持強化に取り組みます。	
関連する市の計画等	我孫子市農業振興地域整備計画、農業経営基盤の強化に関する基本的な構想	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	幹線排水路護岸改修（利根地区）	農業用排水施設維持管理
	鶏伝染病対策事業	農地集積推進事業
	県営担い手育成基盤整備事業	農道整備
	手賀沼地域農業農村整備事業	遊休農地対策事業
	植物防疫業務	農業振興地域整備計画の管理
	水田農業構造改革対策事業	無人航空機防除事業
	淡水魚かい類種苗放流事業への支援	我湖排水機場維持管理
	認定農業者施設整備事業費補助事業	農業用廃プラスチック適正処理への補助
	農業資金利子補給	
	継続費設定事業	排水機場維持管理費 R1～R4年度 105,110千円
債務負担行為設定事業	国営手賀沼土地改良事業負担金 R4～R31年度 187,997千円	

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費		人件費（b）			総事業費 （a+b）	財源内訳				
		（a）	正職員	（人）	（人）	（人）		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	114,703	17,835	2.05	0	0.00	132,538	0	10,157	0	0	122,381
令和3年度	決算見込額	120,265	14,130	2.81	0	0.00	134,395	0	5,825	0	0	128,570
令和4年度	当初予算額	237,538	20,754	2.63	182	0.11	258,474	0	11,483	79,800	82	167,109
	補正後予算額	238,442	20,754	2.63	182	0.11	259,378	0	10,232	79,800	82	169,264
	決算額	140,620	20,754	2.63	182	0.11	161,556	0	10,234	7,400	72	143,850

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度		
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
活動 指標	飼料用米取り組み農家数	人		30	27	35	34	40	45	50
				85	86	90	132	95	100	105
成果 指標	飼料用米作付面積	ha		85	86	90	132	95	100	105
				85	86	90	132	95	100	105
指標				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	人口減少や食生活の変化による米の需要減や、昨今の新型コロナ感染拡大の影響により、民間在庫量が増加となり米価が下がる傾向にあることから、主食用米から飼料用米への転換の推進を実施しました。
成果に対する評価	ほぼ順調	飼料用米取組者数及び取組面積ともに概ね目標値を達成しました。
総合的な評価	ほぼ順調	令和4年度については飼料用米取組者数及び取組面積ともに概ね目標値を達成できたため、引き続き飼料用米への転換の推進を行っていきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	主食用米から飼料用米への転換は米価の安定という観点からも必要事項であるため、今後も引き続き推進を行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	農業経営の安定化
	担当部署名	環境経済部 農政課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-4 農業の振興
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と連携しながら環境保全型農業の普及・促進を図り、エコ農産物の栽培・供給に取り組む農家を積極的に支援・育成し、環境にやさしい農業に取り組みます。 ・地元農産物の付加価値を高めるため、生産者、大学、商工業者、NPOなどの関係者と協力しながら、農業拠点施設を軸とした新たな加工品の開発やブランド化、市内外のイベントでのPRに取り組みます。 ・地元農産物を地域内で消費する地産地消を推進するとともに、市の交流人口を増加させる役割を担う農業拠点施設を活用し、消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物の供給や食育推進に取り組みます。 ・収益性の高い作物や農業技術、経営改善方法の情報提供を行うなど、農業経営の安定化のための各種支援に取り組みます。 ・新規就農者を確保・育成するため、就農希望者の計画作成や農地の確保をサポートするとともに、就農後の農地拡大、農業機械・施設の導入、農業技術の習得、そのための資金調達などの支援に取り組みます。 	
関連する市の計画等	あびこエコ農業推進基本計画、我孫子市男女共同参画プラン、第2次心も身体も健康プラン、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	農業拠点施設維持管理事業	
	6次産業化推進事業	
	あびこ型「地産地消」推進協議会の充実	
	新規就農支援事業	
	農業・農村男女共同参画の推進	
	農業にかかると放射能対策事業	
	有機栽培等農業者支援事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan & Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	26,993	24,360	2.80	0	0.00	51,353	3,375	0	0	38	47,940
令和3年度	決算見込額	23,455	25,578	2.94	0	0.00	49,033	7,500	279	0	38	41,216
令和4年度	当初予算額	25,457	23,894	3.03	6,475	1.83	55,826	0	7,864	0	43	47,919
	補正後予算額	40,682	23,894	3.03	6,475	1.83	71,051	0	10,419	0	43	60,589
	決算額	38,315	23,894	3.03	6,475	1.83	68,684	0	9,383	0	37	59,264

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	農業拠点施設の年間延べ利用者数	人		目標値	390,000	400,000	405,000	410,000	415,000
				実績値	409,805	415,806			
活動 指標	家族経営協定世帯数	人		目標値	40	41	42	43	44
				実績値	40	40			
活動 指標	農産物の加工施設を有する農業者数	人		目標値	8	8	9	9	10
				実績値	7	7			
成果 指標	農業拠点施設への出荷農家数	人		目標値	100	103	106	109	112
				実績値	106	97			
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	エコ農産物の消費者向けPR活動や農業拠点施設の活性化に向けた取り組み、新規就農希望者へのサポートなど農業経営の安定化に向けた活動を実施しました。
成果に対する評価	ほぼ順調	農業拠点施設の利用者は順調に増加しています。一方で、農家の高齢化により出荷農家数は減少傾向にあるため、継続的な施設運営のためにも農業者への働きかけが必要となります。
総合的な評価	ほぼ順調	農業経営の安定化に向けた活動は継続的に実施しています。目標値に対して実績値が乖離している項目があるため、注力する必要があります。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	農家の高齢化により農家の減少、生産力が低下することが想定されるため、既存農家への支援を継続していくと共に、新規就農者への支援も継続し、農業経営の安定化に寄与する事業を行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援	
	担当部署名	環境経済部 農政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-4 農業の振興	
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。	
事務事業の目的・概要	手賀沼沿いの農地を耕作する農業者への支援を行い、手賀沼や斜面林などと一体となった豊かな自然環境を保全していくとともに、自然と農業を活かした観光資源としての活用を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市手賀沼沿い農地利用計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援		
	高野山ふれあい市民農園跡地管理		
	水生植物園管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	51,099	10,179	1.17	0	0.00	61,278	0	11,775	11,400	27,924	10,179
令和3年度	決算見込額	19,008	10,614	1.22	0	0.00	29,622	0	0	0	0	29,622
令和4年度	当初予算額	21,494	5,839	0.73	0	0.00	27,333	0	0	0	5	27,328
	補正後予算額	21,517	5,839	0.73	0	0.00	27,356	0	0	0	5	27,351
	決算額	19,872	5,839	0.73	0	0.00	25,711	0	0	0	0	25,711

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	活動 指標	手賀沼沿い農地活用計画に沿った農地活用面積	㎡	目標値	302,000	302,000	302,000	302,000
				実績値	318,566	318,566		

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	手賀沼沿い農地活用計画に基づき、農地の保全活用と農業者支援を進めました。
成果に対する評価	順調	前年度に引き続き目標値を達成しました。
総合的な評価	順調	今後も引き続き手賀沼沿い農地活用計画に基づき、農地の保全活用と農業者支援を進め、我孫子市手賀沼沿い農用地等保全活用事業補助金交付要綱に基づく支援を行います。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	手賀沼沿い農地活用計画に基づく農地の保全活用と農業者支援及び、高野山新田エリアの豊かな自然環境に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう景観作物の栽培を行い地域資源の活用推進に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	農業者と消費者の交流促進
	担当部署名	環境経済部 農政課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-4 農業の振興
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。
事務事業の目的・概要	・誰もが農業に親しみ、楽しみ、育むことができるよう、市民農園の運営や農家開設型ふれあい体験農園の支援を実施し、農業体験の場を提供します。 ・関係団体と連携し、農業拠点施設を中心とした各種イベントを開催し、地元農産物の利用促進と消費者交流の場を提供します。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市民農園維持管理事業	
	農家開設型ふれあい農園事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan & Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	2,009	3,132	0.36	0	0.00	5,141	0	0	0	864	4,277
令和3年度	決算見込額	1,962	3,306	0.38	0	0.00	5,268	0	0	0	842	4,426
令和4年度	当初予算額	2,140	4,269	0.53	0	0.00	6,409	0	0	0	855	5,554
	補正後予算額	2,146	4,369	0.53	0	0.00	6,515	0	0	0	884	5,631
	決算額	2,035	4,369	0.53	0	0.00	6,404	0	0	0	887	5,517

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	日秀新田市民農園利用区画数	区画	目標値	120	120	120	120	120
				実績値	101	105		
活動 指標	ふれあい体験農園利用者数	人	目標値	550	630	630	630	630
				実績値	523	515		
指標			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				
			目標値					
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	身近な農業体験の場や健康づくりの場を市内に提供し、多目的機能を持つ農地の遊休化や荒廃の防止にも寄与する事業であると評価できるため、事業の推進を継続します。
成果に対する評価	ほぼ順調	利用者数について、市民農園・ふれあい体験農園ともに目標値を達成することはできませんでしたが、利用者数はほぼ横ばいのため、引き続き広報、市ホームページ等でPRを実施します。
総合的な評価	ほぼ順調	市民が身近で農業を体験出来る場を多く確保するために、今後も引き続き日秀市民農園の運営及び農家開設型ふれあい体験農園の新規開設、維持管理に関する支援を行っていくことが必要です。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	農園利用の推進は、身近な農業体験の場の提供や荒廃防止等に寄与する事業であると評価されるため、利用者数目標の達成に向けたPRを強化します。また、ふれあい体験農園新規開設や維持管理等への支援及び支援体制の強化を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高野山新田エリア活用事業		
	担当部署名	環境経済部 農政課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的・概要	高野山新田エリアの豊かな自然環境と調和する景観作物を栽培するとともに、観光農園などの整備について検討していきます。			
関連する市の計画等	高野山新田地区利用構想			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	高野山新田エリア活用事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳（Plan & Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	決算見込額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	当初予算額	0	3,140	0.40	0	0	3,140	0	0	0	0	3,140
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	0	3,140	0.40	0	0	3,140	0	0	0	0	3,140

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	景観作物の種類	種類	目標値	6	6	7	8	8
			実績値	6	6			
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	高野山新田地区利用構想に沿って景観作物を栽培しました。
成果に対する評価	順調	前年度に引き続き目標値を達成しました。
総合的な評価	順調	市民の憩いの場を確保するため、今後も高野山新田地区利用構想に沿って景観作物を栽培します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市内外の人に高野山新田エリアの豊かな自然環境に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう景観作物の栽培を行い、交流人口拡大に繋がる取り組みを推進します。